

岩手大学 農学部 ‘共生環境学コース’ は、



これからの環境共生社会を担う人材を送り出します！

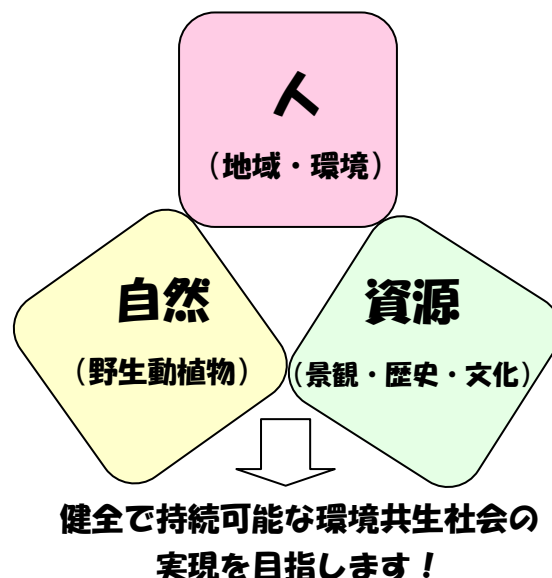
■□■ 共生環境学コースの理念 ■□■

おもに農山村における、人（地域・環境）と自然（野生動植物）と資源（景観・歴史・文化）の共生をはかり、健全で持続的な地域社会作りを目指す人材を育成します。

※ なお、共生環境学コースは、岩手大学農学部 共生環境課程（3コース）の中の1つのコースです。あとの2つは、森林科学コース、農村環境デザイン学コースです。

■□■ 共生環境学コースの特徴 ■□■

学習プログラムは、自然科学から社会科学まで幅広い科目を自由に選択でき、自分の目指す分野を納得できるまで学べるよう配慮されています。



■□■ ユニークなカリキュラム ■□■

実践キャリア 形成ゼミ

専門家として自然と共生する環境を総合的に捉え、地域社会で活躍するために必要な基本スキル（調査研究計画の立案・遂行、学術レポートの作成、プレゼンテーション技術）を講義と演習を通じて修得します。

農林生物共生論

人間と野生動物の軋轢に関する諸問題や生物間の相互作用について正しい知識を持ち、人間と野生動物が共生して行くための対策案について、社会的背景、野生動物の生態的特性をふまえて、具体的に考察する知識と想像力を養います。

地域景観保全論

景観が、生活、歴史、自然といった様々な要因から形成されることを学び、多様な景観の有り様、景観を保全・形成していくための各種手法について理解し、地域空間の管理に関わる者の立場からの景観の保全・形成について検討します。

地理情報処理 演習

GPS 受信機を用いたマッピングや各種地理情報（空中写真、衛星画像、統計情報）の検索・収集、GIS ソフトウェアによる地理情報データの入力・管理・分析・出力を習得します。

森林保全生態学

森林の成り立ち、生物多様性、地球生態系の中での役割など、森林生態学の基礎をおさえたうえで、森林被害のメカニズムの知識と被害の解決のための理論と実践力を養います。

環境共生社会論

環境問題がグローバル化する中での持続可能な社会を構築するために、環境社会学・環境保護思想などをふまえたうえで、受講生自らが望むべき環境共生社会の姿を提示します。

野生動物管理学 実習

野生動物・昆虫類の行動観察、行動圏調査、捕獲、形態計測などの技術を習得し、そのうえで野生動物の生息地としての望ましい森林のあり方を提示します。

地域デザイン 論・実習

参加型の地域づくりについて、実際に自分たちでワークショップを経験しながら学び、地域おこし、地域計画の理論と実践的スキルを身につけます。

※ 上記以外のおもな授業と実習：地域マネジメント論、地域おこし論、保全生物フィールド科学実習、山村経済論、林業・木材産業論、農村計画学、地域デザイン実習、農業経済学、農山村自治体経営論、水資源プランニング、農業生態学、植生科学、地域生態系保全論、森林保護学、自然環境政策論、地域振興政策論、地域観光学、NPO論、農業経営学、農山村自治体経営論、農地工学、水文学、生物資源利用論、環境修復工学、農業環境評価論、野生動物管理学 など

■□■こんな時、こんな場面で活躍します！■□■

‘CSR’に取り組める
実践教育を行っています

◎ 開発地域にどんな生き物がいるのか知りたい！

野生動物管理学・地域生態系保全論・野生動物管理学実習・保全生物フィールド科学実習・植生科学

◎ 地域の資源を発掘し、地域おこしをしたい！

地域おこし論・農村計画学・地域マネジメント論・地域デザイン論

◎ 美しい景観を守りながら、暮らしやすい社会にしたい！

地域景観保全論・地域デザイン演習・環境共生社会論・地理情報処理演習

◎ 多くの人から愛される観光地にしたい！

地域観光学・地域振興政策論・自然環境政策論・農山村自治体経営論

◎ 絶滅しそうな生き物を守りたい！

地域生態系保全論・環境修復学・野生動物管理学実習・保全生物フィールド科学実習・植生科学

◎ 健全な森林を育成したい！

森林保全生態学・森林保護学・樹木資源学・流域保全学・環境修復学・植生科学

◎ NPO を設立し、社会貢献したい！

NPO 論、環境共生社会論、山村経済論

◎ 持続可能な地域社会の実現のための人口、資源、自然を管理・分析したい！

農村計画学、環境共生社会論、農林生物共生論、地理情報処理演習

■□■こんな資格を持っています！■□■

普及指導員、樹木医補、2級ビオトープ計画管理士、技術士補、環境再生医、施工管理技士、測量士補、高校教員免許（理科・農業）など

※ 上記の資格は、指定科目を履修し、資格試験に合格することが必要になります。

■□■教員スタッフはこんな顔ぶれです！■□■

教授	青井俊樹	野生動物の生態の解明と、農林業との共生策を探求しています。
教授	広田純一	地域の自然や歴史文化を生かした、まちづくり・むらづくりを実践しています。
教授	比屋根 哲	森林教育や環境教育をふまえた、市民参加の森づくり計画を研究しています。
准教授	柴崎茂光	森林保全と地域の観光や経済・生活の活性化を研究、実践しています。
准教授	三宅 諭	内発的なまちづくりと地域デザインに関して研究、実践しています。
准教授	山本信次	多くの人々の参加と協働に基づく自然環境保全について研究、実践しています。
講師	東 淳樹	野生動物の生態からみた絶滅回避と生息地保全に関して研究、実践しています。
講師	原科幸爾	地域内の物質の流れや野生生物の生息環境などを GIS で広域的に調べています。
講師	松木佐和子	植物と動物がうまくつきあってゆける森の仕組みを探求しています。

※ 上記の教員のほかに、共生環境課程の全教員と当課程の教育に協力してくれる課程外教員が責任を持って学生教育を行っています。

私たち教員スタッフ一同が、自信と責任をもって送り出します！

岩手大学 農学部 共生環境課程 共生環境学コース

<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~ess/>

コース主任：広田純一 hirotaj@iwate-u.ac.jp 019-621-6199

